

いがおんエヌ

春ですね～院長も蝶々に!

ニックネーム:

本誌へのメッセージ:



きりとり

CHECK 看護師・介護福祉士・看護補助員を募集しています!! お気軽にお問い合わせください ☎ 059-382-1401
WEBはこちら [鈴鹿厚生病院](http://www.miekosei.or.jp)

ほっとニュース

凧揚げの会

去る2月25日(金)にデイケアセンターにて「凧揚げの会」を行いました。

前もって「ものづくり」や「椎葉組」というプログラムで絵を描くなどの下準備をし、当日にメンバーとスタッフが苦戦しつつも協力して組み立てを行い、行燈型凧1個、キット凧5個、新聞凧3個とたくさんの凧を完成させました。

みなさんでグラウンドに向かい、いざ凧揚げ! それまでの厳しい寒さが嘘のように心地よい陽気の中、凧に丁度良い西風が吹き、作った凧は全て天高く揚げる事が出来ました!

感染症拡大防止のため様々な行事が中止・縮小される中、季節感のある行事を開催でき、楽しい時間を過ごすことができました。



●外来診療担当医表

		月	火	水	木	金
午前	初診	交代制	交代制	交代制	交代制	交代制
	再診	高山	中澤	林	西浦	鈴木
午後	再診	中瀬	野村	金原	中瀬	大井
	再診	河合	西浦	宇佐見	高山	大井
		濱口	野村		山村	前田
			金原			

担当医は都合により変更になる場合があります。ご了承ください。

2020年4月より敷地内禁煙となっております

理念 ささえあい、ともに生きる

基本方針

- 患者さまや地域の皆さまに、信頼され選ばれる病院づくりを行います。
- 患者さまが地域で快適な生活が送れるよう、積極的にサポートします。
 - 患者さまの人権を尊重し、きめ細かく配慮します。
 - 患者さま一人一人の治療プランに添った医療を行い、一日も早い家庭・社会復帰を目指します。
- 地域におけるメンタルヘルスに積極的に取り組みます。
 - 医療の質向上に向けて日々研鑽を積みみます。

編集後記

今号は「家庭内で感染を防ぐためのポイント」などをお伝えしました。さて、広報委員のスタッフは「Live with すずか」の名の通り、皆さんと一緒に創っていきたくと考えております。本誌へのご感想やご要望・ご意見がございましたらお気軽にご連絡ください。

TEL・059-382-1401 (代表) FAX・059-382-1402
Eメール・info@skh.miekosei.or.jp

三重厚生連 鈴鹿厚生病院

第69号

2022.4月

発行/三重県厚生連鈴鹿厚生病院
編集/TCK名古屋
所在地/三重県鈴鹿市岸岡町589-2
TEL/059-382-1401
ホームページ/http://www.miekosei.or.jp/skh/

ともに生きる… Live with すずか

地域の皆さんのお役に立ちたい情報誌

家庭内で感染を防ぐためのポイント

桜の花も咲き、何事も無かったかのように季節は移り変わっていきますが、私達の生活様式は新型コロナウイルス感染症の発生と共に一変しました。当院の感染対策も新株の特徴を考慮しその時々で変更してきました。その為、面会が中止となり皆さまにはご迷惑をお掛けしております。

「感染を院内に持ち込まない」をモットーに、新規入院患者さまには一律 PCR の検査を実施しています。また、世間一般の感染対策に加え、職員が一丸となり取り組んでいることは「オミクロン株」で問題となっている家庭内感染を防ぐ対策です。現在、保育園や小学校などで感染が拡大し、身近で陽性者が発生するケースを認めます。しかし、家庭での伝播を防ぐために職員一同、下記のポスターによる感染対策を遵守しています。その為、伝播しやすい「オミクロン株」であっても、院内に感染を持ち込んだケースは発生していません。皆さまも是非お役立てください。

食事

- 帰省家族との食事は時間をずらす又は2m以上離れた別のテーブル、若しくは別室とする
- 大皿料理を共有しない
- スプーンや箸を共有しない

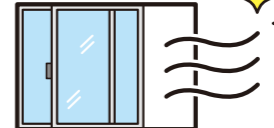


清掃

- 共有部分(高頻度接触面)は0.05%のハイター(水3Lに液25ml)、若しくは70%以上のアルコールで清掃する(ハイターは金属腐食性があるため、水での2度拭きが必要)
- トイレ・浴室・洗面所は通常の家庭用洗剤ですすぎ乾燥させ、70%以上のアルコールで拭く

換気

- 30分に5分程度の換気を行う



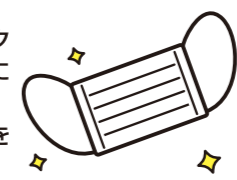
手洗い(手指消毒)

- 食事前や帰宅時、また目や鼻を触る前には流水と石鹸による20秒以上の手洗い若しくは、アルコール手指消毒を実施する
- ハンドタオルの共有はしない



マスクの着用

- 帰省家族との会話時や2m以上の距離が保てない場合は必ずマスクを着用する
- 使用したマスクを環境表面に置かない
- マスクの表面を触らない



入浴・トイレ

- 帰省家族が最後に入浴するようにする
- タオルやバスタオルを共有しない
- トイレが2箇所ある場合には帰省家族と使用場所を分ける

家族全員の健康管理

- 体温と体の変調がないかのチェックを毎日、朝・夕で実施する

洗濯類・食器類

- 一般的な家庭用洗剤での洗浄と乾燥

寝室

- 帰省家族とは別室で就寝する
- 部屋数が少ないなどの場合は、カーテンや衝立で仕切る。または、頭の位置を互い違いにする

咳エチケット

- 咳やくしゃみ時はティッシュやハンカチで口元を覆う。手で口元を覆わない

心の健康セミナー 誌面版

心の健康セミナー誌面版は「こころ」に関するテーマに沿って毎月連載していくコーナーです。

テーマ

コロナ禍での息抜き

元々は遊びに出掛けることが好きであったこともあり、この新型コロナウイルスの流行で休日の過ごし方は大きく変わらざるをえませんでした。当初はこれ程まで長引くとは思っておらず、ぼんやりと過ごしていました。しかし時間が経つにつれ何かしら生活の息抜きを、と考える学生時代に嗜んでいた読書のことを思い出し、最近では暇を見つけては本を読み耽る毎日です。私が読むのは主に小説ですが、一度読み始めると先が気になり手が止まらなくなることもしばしばです。私自身進んで今の道に進んだわけですが、日々の業務と小説を読むこととの共通点を考えると「誰かの人生に触れる」と言うことでしょうか？私はそのことが好きなのだろうな、と今回のコラムを作りながら感じました(小説と現実とは違うよ、とお叱りを受けるかもしれませんが…)。

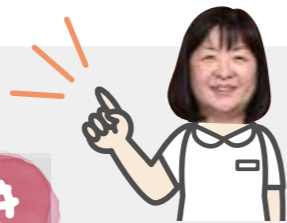
の結果が発表になる頃かと思います。昨年の『52ヘルツのくじらたち』一昨年の『流浪の月』、少し前の『かがみの孤城』『蜜蜂と遠雷』『羊と鋼の森』、過去の受賞作はどれも興味深く読ませていただきました。その発表を楽しみにししばらくは日々過ごそうと思います。もし興味を持たれた方がみえたら書店に立ち寄った際に手に取って頂けると幸いです。最後に私が家族教室、合同レクの担当でもあるのでお知らせです。新型コロナウイルス感染症の終息が未だ見通せない中でもありますので、現時点では再開の見込みをお伝えすることはできません。但し再開出来ることを目指し、定期的に各部署で集まり話し合いを行っています。すぐには言えないかもしれませんが、再開をお待ち頂いている方々と家族教室、合同レクの場でまたお会いできることを楽しみにしています。

看護部長の

つぶやき



今年度も新たに精神科医療に携わってくれる看護職員が9名入職してくれました。私たちの仲間になってくれたことをとてもうれしく思います。これからの成長が楽しみです。



お茶

三重県は、日本第3位のお茶の生産量を誇ります。「伊勢茶」と呼ばれるため、伊勢地方が主な産地と思われがちですが、四日市から鈴鹿、亀山にかけて、北勢地方が最大の産地とされ、かぶせ茶の特産地です。



お茶クッキー

南勢地域では、大台町、度会町で煎茶、松阪市の飯南、飯高では深蒸し煎茶が多く生産されています。旬は一番茶が4月下旬から5月中旬、二番茶が6月下旬から7月上旬で、栄養素としては、**カテキン、テアニン、ビタミンA、C、Eによる、リラックス効果、抗酸化作用を期待**できます。三重県の産物であるお茶、その栄養効果を期待して、茶葉が様々な料理やお菓子作りに取り入れられています。お茶の美味しい季節です。まずは、ゆっくりとお茶を入れてみてはいかがでしょうか。



スマイリー バトンリレー

東3階病棟

東

3病棟は男女混合の開放病棟であり、長期入院の方を含む社会復帰病棟としての役割を担っています。患者さまが早期に社会復帰ができるよう、作業療法や日常生活指導など個々の能力を高める支援を行っています。また、月1回季節ごとの病棟レクリエーションを実施し、入院生活の中で患者さまが季節の移り変わりを感じられるよう努めています。コロナ禍のため外出や外食が制限される中でも患者さまが心豊かな生活が送れるようスタッフ一同尽力いたします。

地域の関係機関のご紹介



地域包括支援センター

鈴鹿第4地域包括支援センターわかたけ

わたしたちは
かいごよろこび
たのしいせいかつ
けんこうを支える
センターです



みなさんこんにちは、社会福祉法人慈童会くすのき園所属の地域包括支援センターわかたけです。日頃は、医療、福祉、保健の関係機関様、民生委員児童委員様、地域づくり協議会様にはご協力を賜りありがとうございます。地域にお住いの高齢者の介護予防支援や暮らしやすい地域づくりのため事業を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

information

〒513-0055
鈴鹿市上箕田町字近田2639-2
電話059-385-7770 F A X 059-385-7771



院内散策

憩いの
POINT

リハビリテーションセンターの一室から覗ける梅の花です。冬籠もり、コロナ籠もりで、めっきり外出の機会が少なくなりましたが、こんなところでも春を感じることが出来ますね。



デイケアセンターからお知らせ

2022年4月1日よりショートケア・デイケア・ナイトケアのみの運用となります。デイナイトケアは利用できませんので、ご了承ください。